

ひとみ輝き 笑顔いっぱい

学校だより 第4号

東っ子

みんなちがって
みんなで
「いいね!」



東小は創立52周年を迎えました

5月10日（土）は、東小学校の創立記念日です。

この地域では、明治5年の学制により私塾が廃止となり、東金・田間・嶺南・台方の4小学校が誕生しました。当時の田間小学校は、当時はとても珍しい西洋建築だったそうです。そして、明治期の学制改革により、様々な形態を経て、明治41年に、東小学校の原点ともいえるべき東金尋常高等小学校が誕生しました。昭和16年には、国民学校令により国民学校と改称されましたが、戦後の教育制度改革により東金小学校となりました。そして、昭和49年4月に学区再編成により、東金小学校は、東小・鶉嶺小・城西小の三校に分離し、現在に至ります。

祝52周年



みんなで楽しく活動しよう！ 不審者から身を守る

～クラブ活動～

～1年 防犯教室～

4月30日（水）にクラブ活動が行われました。目的は、学年・学級を異にする児童が、共通の興味や関心を追求する活動を自発的にを行い、自治的に活動することで、自分の個性を伸ばしたり、社会性を豊かにしたりできるようにすることです。限られた回数ですが、学級とは異なる集団で、楽しく活動できるといいですね。

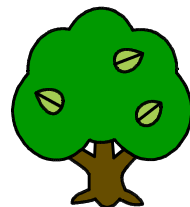


5月1日（木）に1年生は、不審者対応のための「防犯教室」を行いました。目的は、「児童一人一人に防犯意識をもたせ、登下校時や放課後等に自らの安全を守れるようにする」ことです。生活安全課の警察官の方をお招きし、具体的な場面を通して、体験的に学ぶことができました。



知らないところで支えてくれている人がいます

～樹木消毒～



4月29日（火）の早朝、松之郷の土肥さんたちに運動場の樹木消毒をしていただきました。これから気温が上がってくると、虫たちの活動も活発になり、運動場のさくら等の樹木に毛虫が発生することがあります。それを未然に防ぐための大切な作業です。地域の様々な方々に支えられて子供たちの安全・安心が守られています。

「学校経営計画」の用語解説

1 自己肯定感（じここうていかん）

心理用語の「self-esteem」（セルフエスティーム）を訳した言葉で、「自尊感情」とも言います。自分に対する評価を行う際に、自分のよさを肯定的に認める感情。自分をかけがえのない存在、価値ある存在としてとられる気持ちです。自己肯定感の高い子供は、様々な課題や困難に対して、自信を持って挑戦することができます。

2 受容感（じゅようかん）

他者から認められ、肯定的に受け入れられていると感じる気持ちです。子供は、周りの大人や友達に受け入れられ認められていると、安心してやるべきことに向き合うことができます。

3 所属感（しょぞくかん）

集団の中に自分の居場所があり、その一員であると感じることのできる気持ちです。東小の職員は、子供たちの居場所づくりに努め、学校や学級への所属感を高めようと、日々努力しています。

4 自己統制感（じことうせいかん）

課題に対して、自力解決している、自力解決できそうであると感じる気持ちです。算数や理科、社会科等では、課題に対して自分なりの解決方法を考え、自ら解決していく学習、問題解決学習を行っています。

5 積極的・予防的な生徒指導

問題行動の発生を未然に防ぐことを目的に、教育相談的な手法を使って、よりよい人間関係やコミュニケーションづくりを意図的に行っていく生徒指導のことです。子供一人一人の心を耕し、様々なストレスに対する耐性を高めると共に、居心地のよい学校・学級づくりをすることで、支持的風土を築きます。

6 自ら学ぶ意欲

心理学用語の「内発的動機づけ」と同じ意味です。「受容感」「所属感」「自己統制感」が高まることで、課題解決への挑戦意欲が生み出されると考えられます。自分で課題を解決できたという実感が、「自己肯定感」を高め、次の課題への挑戦意欲へと結びつきます。やらされる勉強より、自分から進んでやる勉強の方が、学力向上を促します。

7 ユニバーサルデザイン

障がいの有無にかかわらず「より多くの人が使やすい」という視点で考えられたデザインのことです。ユニバーサルデザインの視点で「授業」「人的環境」「物的環境」を整えることで、学習不振や二次障がい等を未然に予防することができます。